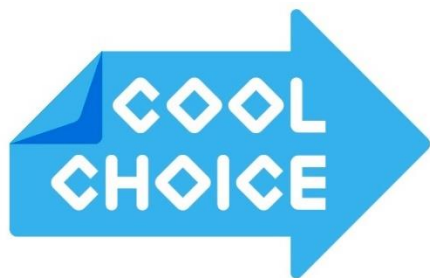
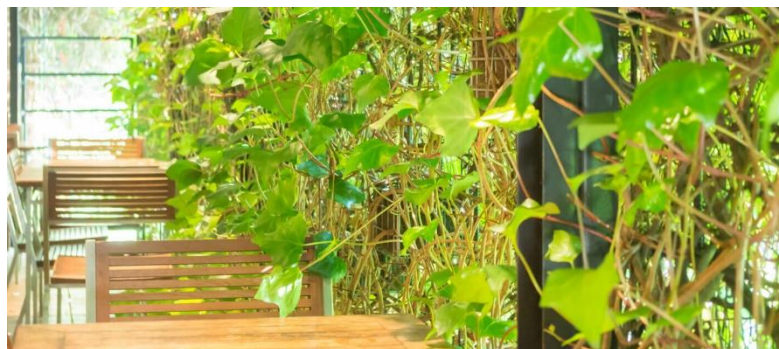


工専会もクールチョイス宣言!!

優しい光に包まれるグリーンカーテンで、涼をとる



未来のために、いま選ぼう。



平素は吉川工専工業会活動に際しましてご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。
さて、昨年度の事業計画により企画をしておりました「クールチョイス活動」の一環といたしまして「グリーンカーテン」に、今年度は取り組んでみようということになりました。

グリーンカーテンとは暑さをしのぐ方法として、主につる性植物でつくる緑の日よけです。青々と茂る緑に囲まれていると心が癒やされて、そよ風もいつもより気持ち良く感じるでしょう。当会では、グリーンカーテンとして使用する植物は『ゴーヤ』で、初心者でも育てやすく、意外と手間もかかりません。今から始めても間に合うので、今年の夏はグリーンカーテンの心地良さをぜひ体験してください。

2018年4月24日

吉川工専工業会 会長 柏瀬浩史

工専会のクールチョイス活動

締切5月10日

「レッツ！グリーンカーテン “ゴーヤの苗を育ててクールダウン”」

クールチョイスに賛同します

今回は遠慮します



★下記の申込書へ必要事項をご記入いただき、事務局までご返信ください。

ゴーヤの苗－申込書			
会社名	★希望者には育て方プロの指導あり <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 大丈夫		
代表者名		担当者名	
住所	〒 埼玉県吉川市	TEL	
		希望鉢数	本

無料

返信先 F A X 0 4 8 - 9 8 4 - 1 1 8 9

企業の環境配慮についての補足（関連記事）

1. 「COOL CHOICE」とは

「COOL CHOICE」とは、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

例えば、エコカーを買う、エコ住宅を建てる、エコ家電にするという「選択」、高効率な照明に替える、公共交通機関を利用するという「選択」、クールビズをはじめ、低炭素なアクションを実践するというライフスタイルの「選択」。

みんなが一丸となって温暖化防止に資する選択を行ってもらうため、統一ロゴマークを設定し、政府・産業界・労働界・自治体・NPO等が連携して、広く国民に呼びかけて行きます。

クールチョイスについて⇒
(環境省ホームページ)



■CSR（企業の社会的責任）・・・Wikipediaより抜粋

CSRは企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆる[ステークホルダー](#)（利害関係者：消費者、投資家等、及び社会全体）からの要求に対して適切な意思決定をする責任を指す。[社会的責任](#)^[6]の呼称で国際規格 ISO 26000 を2010年11月に策定した。[日本語](#)にも翻訳され、[日本工業規格](#) (JIS) では JIS Z 26000 「社会的責任に関する手引」として2012年3月に制定された。最も基本的なCSR活動として挙げられるのは、企業活動について、利害関係者に対して[説明責任](#)を果たすことであるとされる。[インベスター・リレーションズ](#) (IR)は代表例である。[環境問題](#)に対する企業の責任が唱えられたのをきっかけに、様々なステークホルダーに対する責任が問題とされるようになった。環境(対社会)はもちろん、労働安全衛生・人権(対従業員)、雇用創出(対地域)、品質(対消費者)、取引先への配慮(対顧客・外注)など、幅広い分野に拡大している。国連では、このうちの「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則を[グローバル・コンパクト](#)として提唱し、世界中の企業・団体に参加を呼びかけている。

環境配慮企業への投資促す 環境省、来夏に戦略策定

2017/12/7 18:54 | 日本経済新聞 電子版

保存 共有 その他▼

環境省は環境保護に積極的な企業への投資を促す戦略を作る。機関投資家や関連団体と協議し、2018年夏にもまとめる。環境や社会、企業統治へ取り組みを評価する「ESG投資」が欧米で拡大している。企業に情報開示を促し、評価が高い企業への投資をしやすい環境を整える。

戦略を検討する会議を来年1月に設ける。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）や第一生命保険、日本証券業協会などのほか、経済産業省や金融庁…